



平成29年度 入学式 2017/4/7



式辞を述べる荻野校長

4月7日(金)に、小雨の降る中、平成29年度第43回入学式が本校体育館において厳粛に挙行されました。

各クラスの担任から呼名された360名の新入生が、荻野校長から入学を許可されました。

荻野校長は、式辞の中で本校での生活を有意義に過ごすために取り組んでもらいたい二つのことを話しました。

まず第一に、これからの社会はどれだけ勉強したか、あるいは多くの知識を持ったかではなく、何ができるようになったかが重視されるということです。

そこで私は日頃から本校生徒には、**自ら調べ、自ら考え、自ら行動する**という意味で、「自調」「自考」「自行」の実践を求めています。記憶が学力を測る指標であり、将来を約束する手形であると考えられていた時代はすでに過去のものになりました。それよりも、**生きていくために必要な力として、思考力、判断力、表現力が求められています。授業で教わる事柄を「自調」「自考」「自行」によりさらに深い学びに変えていきましょう。学びの原動力は、将来の「夢」だと考えます。10年後20年後に社会に貢献できるよう、高い志を「夢」に持って三年間を過ごしてください。**

二つ目は、本校の卒業生は、高校生活は本当に楽しかったと語ってくれます。ただ、そんな卒業生も高校生活の場面場面では忙しくきつく感じる場面も多かったと思います。**私は生徒に「勉強」「部活動」「学校行事」すべてに全力を尽くしなさいと言っています。部活動があるから勉強ができないなどの言い訳は、しないということです。「その場面できつから、結果が面白い。きつから感動する」ということです。高校生は、無限の可能性を持っています。しかし、困ったときは、お互いに助け合うことも忘れないでください。**

皆さんは、今日から「チーム千葉北」の一員となります。何事にも全力で取り組んで三年間の高校生活を満喫してください。

新入生代表宣誓

新入生を代表して尾形君は、「千葉北高等学校の校章には健康と英知、また北斗星のように尊い存在に成長して欲しいという願いが込められています。その校章に込められた願いを胸に、私たちはこの場所で過ごす三年間、健康に留意し、勉学や部活動をはじめ様々な活動に一生懸命に取り組んでいきます。そして空に悠然と輝く北斗星のように一人一人が尊い存在になれるよう努力することを約束します」と力強く誓いの言葉を述べました。



誓いの言葉を述べる新入生の尾形君

入学式の入退場曲演奏

入学式の入退場曲の演奏を吹奏楽部が行いました。新入生を迎えるにあたり、吹奏楽部の生徒たちはリハーサルを繰り返し行い、入学式に臨みました。

吹奏楽部の演奏はいかがでしたか。



校歌紹介

野球部・ソフトボール部・女子バレーボール部・吹奏楽部の生徒が校歌を披露しました。披露後に、盛大な拍手をいただきました。新入生のみなさんも早く校歌を覚えてくださいね。

